

# 事業概要

- ・国道1号静岡バイパスは、静岡市街地を通過する国道1号の交通を迂回させ、市内の日常生活における利便性の向上・交通混雑の緩和・交通安全の確保を図る、延長24.2kmの幹線道路です。
- ・平成9年の全線暫定開通以降、順次「4車線化」を推進しており、**3月1日(日)に羽鳥・牧ヶ谷ICのフルインター化と鳥坂IC～千代田上土IC間が開通します。**
- ・今回の開通により、**バイパスでは朝・夕を中心に慢性的に発生していた交通混雑が大幅に改善され、清水港や新東名・東名などへのアクセス性が向上し、地域経済の発展に寄与することが期待されます。**  
(静岡バイパス全体の約9割が4車線化)

## ■ 路線概要

事業名	国道1号静岡バイパス
延長	24.2km
道路規格	第1種第3級 (一部第3種第1級)
設計速度	80km/h
車線数	完成4車線

## ■ 事業の経緯

これまでの 開通経緯	平成9年3月	・全線暫定2車線開通 ※一部平面区間
	平成18年3月	・千代田上土IC～唐瀬IC間4車線化
	平成20年3月	・清水IC西～鳥坂IC間4車線化 ・昭府地区 暫定2車線立体化
	平成24年2月	・唐瀬IC～羽鳥IC間 4車線化

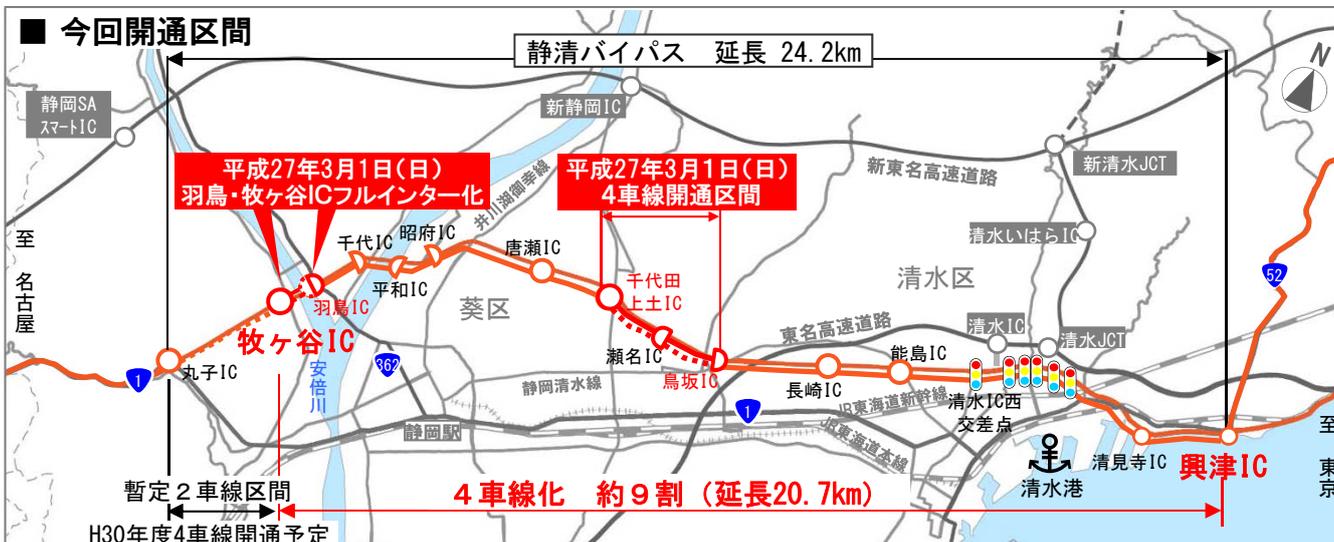
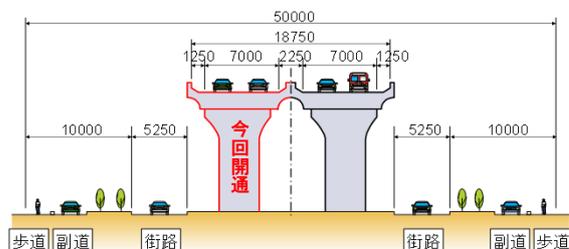
## 今回 開通

平成27年3月1日	・羽鳥・牧ヶ谷ICフルインター化 ・鳥坂IC～千代田上土IC間4車線化
-----------	--



## ■ 標準断面図

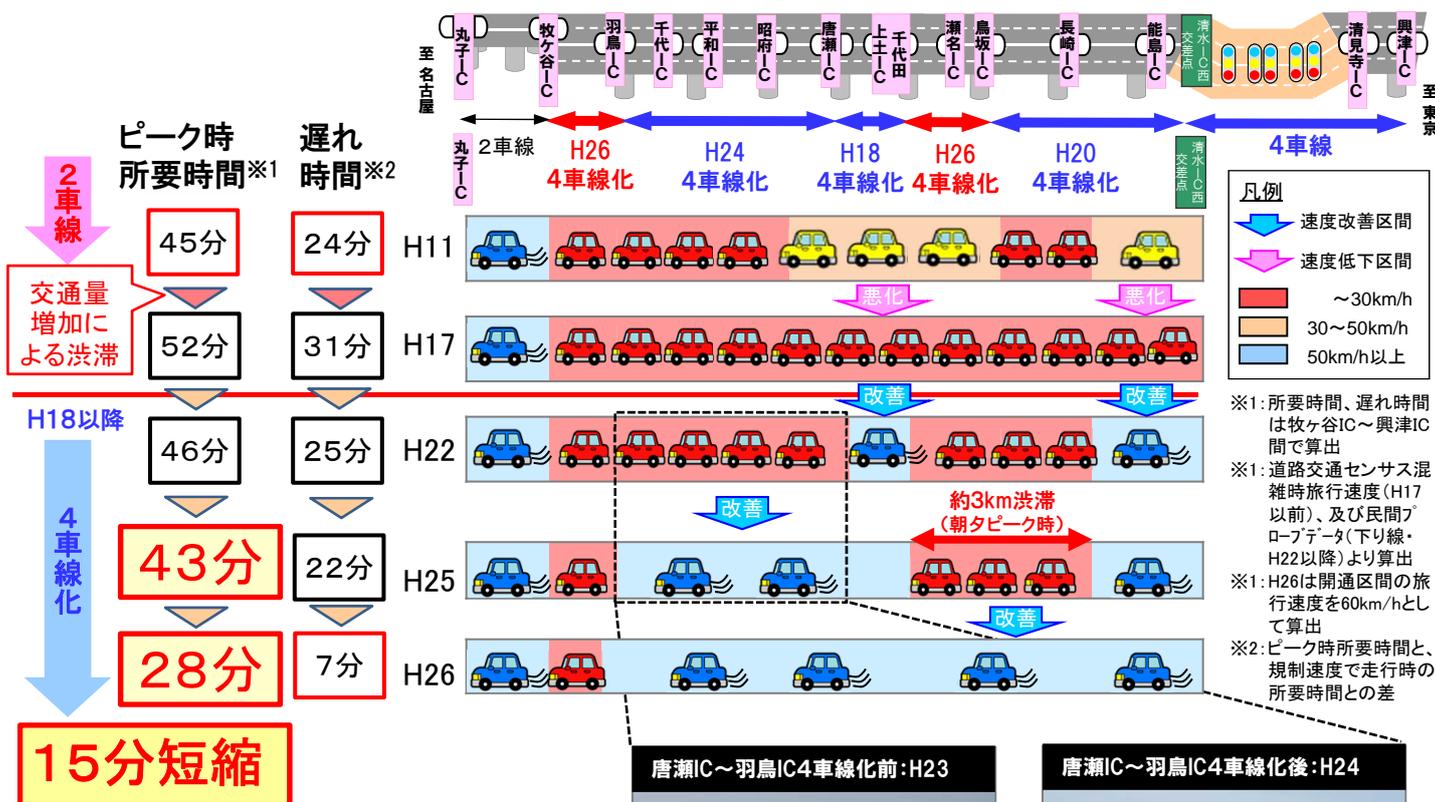
○橋梁部



# 「安定した物流」を支援

・今回の開通により、4車線区間の興津IC～牧ヶ谷ICまでの所要時間が約15分短縮され、製造品等の輸送時の速達性・定時性が向上し、物流の効率化に貢献します。

## ■ 静清バイパスのボトルネック区間(4車線から2車線)の解消 (名古屋方面)



## ■ 静岡市のものでづくり産業の特性

電気機械 器具製造業	製造品 出荷額※ (億円/年)	木材・木製品 製造業	製造品 出荷額※ (億円/年)
1 静岡市	5,587	1 掛川市	473
2 湖西市	4,862	2 廿日市市	386
3 姫路市	4,107	3 龍ヶ崎市	342
4 草津市	3,462	4 沼田市	336
5 名古屋市	3,332	5 石巻市	294
6 日上市	2,974	6 静岡市	276
7 栃木市	2,928	7 坂東市	265

⇒家電製品(エアコン等)の生産が盛ん

⇒家具・建具・仏壇等の生産が盛ん

※出典: H24年工業統計



### 【静岡バイパスを利用する企業の期待】

- ・輸送時にあらかじめ余裕時間を見る必要がなくなり、出発時間を遅らせることができるようになります。
- ・渋滞が解消されれば時間が読めるようになるため、到着時間が把握できるようになります。



※牧ヶ谷地区企業へのヒアリング調査より

# 「清水港の物流拡大」を支援

- ・国際拠点港湾である清水港のコンテナ取扱貨物は30年で約4.4倍に増加しており、港湾貨物の重要な物流経路であり、清水港に直結する静清バイパスの大型車交通量も増加しています。
- ・清水港へ向かう利用経路の約6割を静清バイパスが担っており、清水港を利用する物流の拡大へ貢献しています。

## ■ 国際港湾清水港と連携した物流拡大への貢献

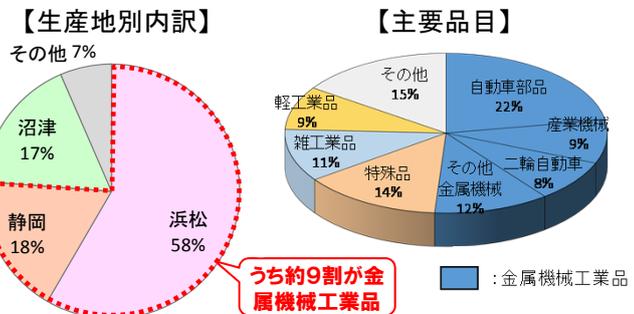
### ○ 静清バイパス大型車交通量と清水港取扱貨物量の変化



※TEU: 20フィートタイプのコンテナに換算したコンテナ個数の単位  
 ※出典: 清水港港湾統計調査(昭和48年～平成25年)

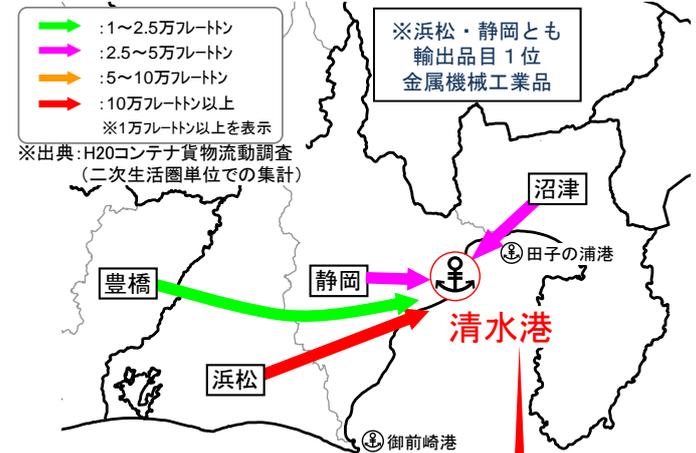
### ○ 清水港取扱貨物量の主要品目

金属機械工業品を中心に約8割が静岡・浜松方面から輸送



※出典: H20コンテナ貨物流動調査 ※出典: 清水港港湾統計調査(平成25年)

### ○ 清水港輸出貨物の生産地別内訳と利用経路



**清水港へ向かう車両の利用路線**

- ・静清バイパス: 約6割
- ・東名高速道路: 約2割
- ・国道150号: 約1割
- ・その他路線: 約1割

※出典: 商用車プローブデータ(H26.7)

### ○ 清水港整備状況



- 清水港は、平成27年度に新興津国際海上コンテナターミナル整備事業が完了予定であり、静清バイパスを利用する港湾貨物交通量は今後更に増加すると考えられます。
- 今回の開通後に唯一残る2車線区間の牧ヶ谷IC～丸子IC間は平成30年度に4車線化予定、清水平面区間の立体化は、早期整備に向け用地買収を推進中です。

# 「ものづくり産業」を支援

- ・静清バイパスの開通とともに、**バイパス沿線に施設・店舗の立地や経済成長が進み**、交通量は増え、全線暫定2車線開通(H9)で国道1号の交通量は大きく減少しました。
- ・国道1号の交通がバイパスへ転換(特に大型車)し、**国道1号の環境が改善**されました。

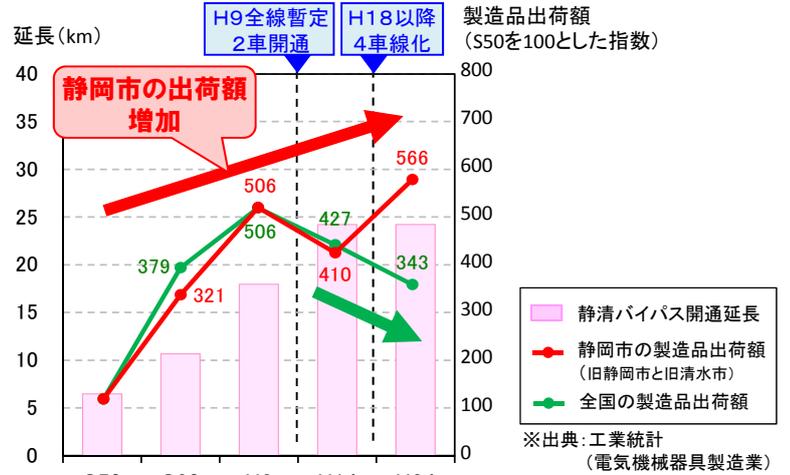


- ★ 静清バイパス沿線に立地した代表的な施設や店舗
- ☆ 静清バイパス沿線に過去に立地した代表的な施設や店舗

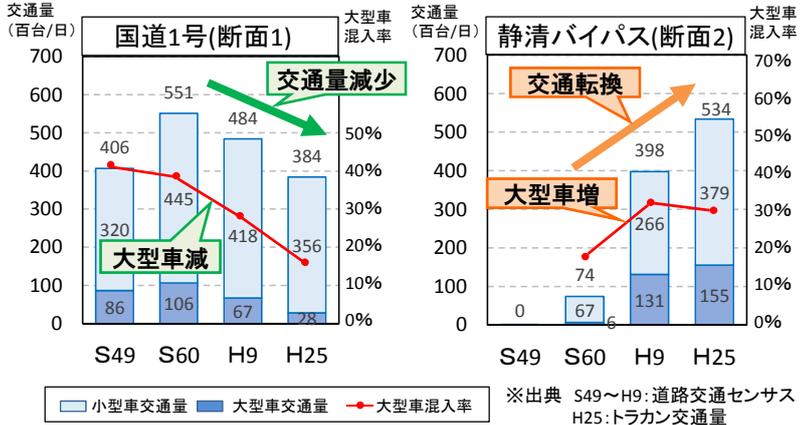
## ■ 静清バイパス沿線に施設が立地(写真①)



## ■ 静岡市と全国の製造品出荷額の推移



## ■ 静清バイパスと国道1号の交通量



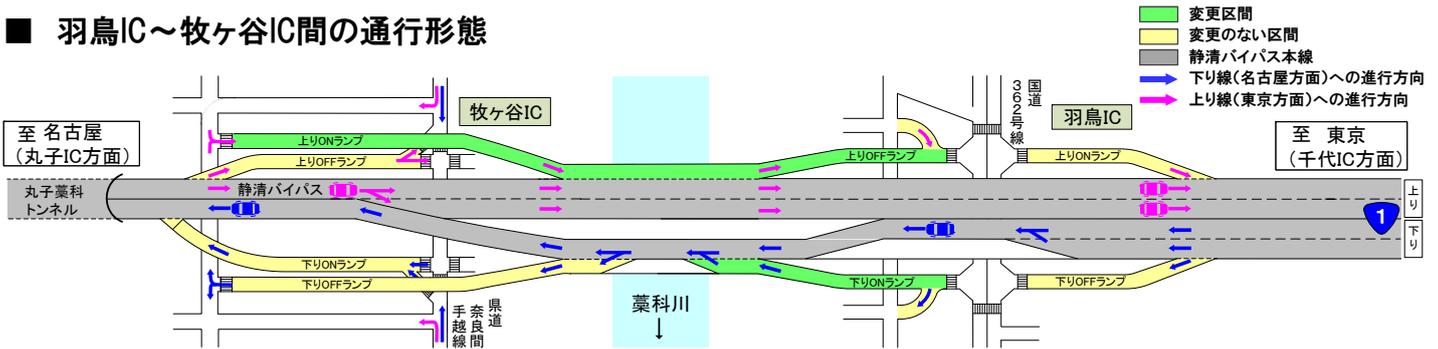
## ■ 国道1号静岡駅前付近の環境改善状況(写真②)



# 羽鳥・牧ヶ谷ICフルインター化による効果

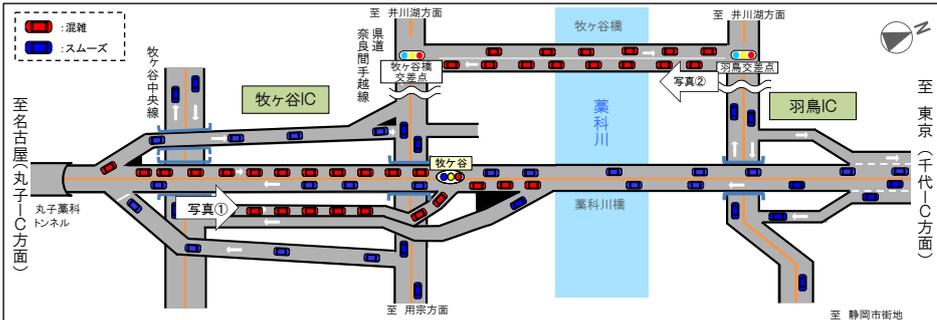
- ・羽鳥ICは名古屋方面ランプの新設により羽鳥IC周辺地域のアクセス性向上が期待されます。
- ・牧ヶ谷ICは本線上の信号機の撤去により渋滞の緩和が期待されます。

## ■ 羽鳥IC～牧ヶ谷IC間の通行形態



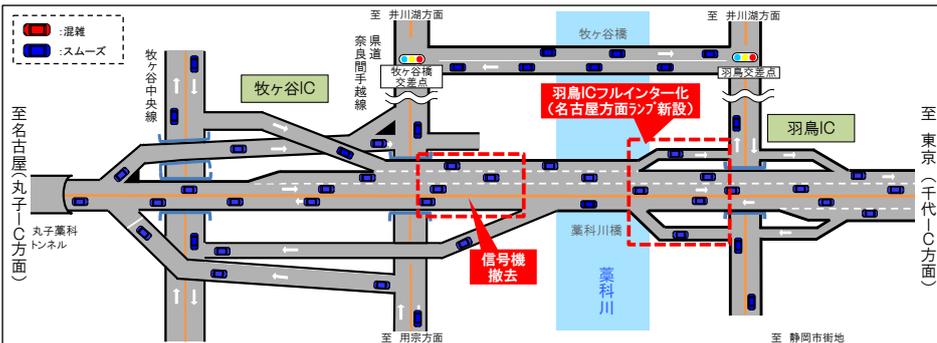
[H25年3月時点]

写真①: 牧ヶ谷交差点における渋滞



↑ 信号制御による上り線オンランプの渋滞状況 (牧ヶ谷IC) 撮影: 平成24年4月

## [羽鳥IC・牧ヶ谷ICフルインター化後]



写真②: 牧ヶ谷橋における渋滞



撮影: 平成26年12月

## ■ H27年1月24日 牧ヶ谷IC通行形態変更に伴い信号機を撤去

